

7月の歴史カレンダー

★7月に何が起こったか

1日 ◆環境庁発足 (1971/S46) ◆公害等調査委員会発足。(中央公害審議会を改組)(1972/S47)	2日 土本典昭監督が今の水俣を描いた映画「みなまた日記」を完成(2004/H16)	3日 「水俣病の認定に係る業務の促進について」(新環境事務次官通知)一蓋然性が高い場合—(1978/S53)	4日 ◆県、和解見直し案を裁判所に提出。救済対象者全員に一人一律300万円(1991/H3) ◆政府、チッソに対する新たな金融支援策を閣議了解(1997/H9)	5日 国立水俣病総合研究センター、水俣病の発生・拡大過程を検証する「水俣病に関する社会科学的研究会」を発足(1997/H9)	6日 第2回チッソ県債発行—発行額2億2000万円(1979/S54)	7日 ◆第20回チッソ県債発行—発行額10億5800万円 ◆一次訴訟原告である田上義春氏逝去(2002/H14)
8日 熊本県議会、「水俣病特別対策委員会」を設置(1959/S34)	9日 患者各派(二次訴訟派を除く)、チッソと補償協定に調印(1973/S48)	10日	11日	12日	13日 市漁協、新日窒と年額40万円の漁業補償契約を結ぶ(1954/S29)	14日 ◆市立病院に水俣病専用病棟落成、患者二十九人が公費入院 ◆熊本研究班会議で有機水銀説報告(1959/S34)
15日	16日 村山首相、遊説先の福岡市で個人の考えとして、救済の遅れや被害拡大への反省見解を表明(1995/H7)	17日	18日	19日 水俣湾の仕切網、台風6号の影響で約400メートルにわたって外れる(1996/H8)	20日 海の日 ◆水俣市漁協、チッソと漁業補償妥結(補償総額4億円)(1973/S48) ◆丸島漁港公害防止事業(ハドロしゅんせつ)工事着工(1987/S62)	21日 新日窒附属病院細川委員長、塩化ビニール、アセトアルデヒド廃水を直接投与するネコ実験開始(1959/S34)
22日 熊本研究班、「水俣病は現地の魚介類を摂取することによって引き起こされる神経系疾患であり、魚介類を汚染している毒物としては、水銀が極めて注目されるに至った」と公式発表(1959/S34)	23日 厚生省、「魚介類の水銀の暫定的規制値」制定(1973/S48)	24日	25日	26日 県、熊本大学学長に「水俣の原因不明疾患の原因究明」の研究を依頼(1956/S31)	27日 新日窒附属病院に入院中の患者8人を「日本脳炎疑」として、水俣市隔離病舎に収容(1956/S31)	28日
29日	30日 水俣病チッソ交渉団(楠本直団長ほか245人)、公害等調整委員会に原因裁定の申請(1988/S63)	◆水俣市鮮魚小売商組合、市漁協の漁獲した魚介類を一切取り扱わないと不買決議(1959/S34) ◆第1回「水俣病を語る市民講座」を開く(1993/H5)	新日窒水俣工場、技術部に奇病研究室を設置(1959/S34) 市漁協、水俣地先1,000メートル以内の漁獲禁止区域を設置し操業を自粛(1960/S35)			